

小豆島町狛犬散歩 内海界限

① 安田荒神社 (駐車場は栄光寺さんに声をかけておかせていただく)

車の入れない境内の長い石段を登って上がる。石段の垂直面の中央に横書きで寄進者名が彫ってある。毎年7月15日に祭があると、決まって石段の名前は誰だろうと話題になるそうです。狛犬は「慶應元年」小ぶりでかわいい花崗岩製のなにわ狛犬。



② 木庄荒神社

正体不明、凝灰岩製のよう。橘荒神社の狛犬を模倣。名石工か？

はたまた同一人物の作か？お堂の中に置いてあるので、動かすと下は蟻さんだらけ！



③ 神懸通 天津神社 (妙見さん) 車で本殿脇まで行ける。

昭和10年 坂東為治 とある。島唯一の青銅製 (ブロンズ)

戦前の寄進で、戦後まで残っている。坂東さんとはどんな方？



④ 草壁 八坂神社 昭和3年 大川氏 中田氏のご夫婦で寄進

昭和は個人の寄進になってきている。浪速風な花崗岩製、

どこで作られたものでしょうか？



⑤ 堀越荒神社 車は、海岸沿いの広場に止めさせて

もらって、歩く。安政6年 海を見つめて大きな口を開けている。江戸終期で浪花狛犬蝦蟇型、砂岩製である。



⑥ 坂手荒神社 昭和15年 皇紀2600年の寄進 高松市榎田小杉とある。小豆島に初上陸の岡崎型の花崗岩製。



⑦ 内海八幡神社

安永5年 (1776)

小豆島の最古参

浪花狛犬



⑧ 岩ヶ谷荒神社 (ご神体は下に下され、

文政11年(1827) 今は上がれない

「大坂西横堀和泉屋安兵エ」

銘あり。小ぶりだがみごと



⑨ 橘荒神社



砂岩製
小ぶり、神殿
中用か。
どこからや
ってきたの
か不明

この他、福田の葺田八幡神社入り口に浪花狛犬、拝殿前に岡崎型と2対の狛犬が見られます。小豆島の八幡神社は全部江戸時代のなにわ狛犬です。大坂から運ばれてきたものです。

二つと同じ顔のない狛犬さん達。
「こまいぬ」こんなにもたくさんの顔があることわかりましたか。それぞれに寄進されたいきさつがあり、昔の人々が一生懸命に生きてきた事を見守ってくれています。

西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号
1596	慶長	1661	寛文	1726	11	1791	3	1856	3	1921	10	1986	61	1991	6
1597	2	1662	2	1727	12	1792	4	1857	4	1922	11	1987	62	1992	7
1598	3	1663	3	1728	13	1793	5	1858	5	1923	12	1988	63	1993	8
1599	4	1664	4	1729	14	1794	6	1859	6	1924	13	1989	平成元	1994	9
1600	5	1665	5	1730	15	1795	7	1860	万延	1925	14	1990	2	1995	7
1601	6	1666	6	1731	16	1796	8	1861	文久	1926	昭和元	1991	3	1996	8
1602	7	1667	7	1732	17	1797	9	1862	2	1927	2	1992	4	1997	9
1603	8	1668	8	1733	18	1798	10	1863	3	1928	3	1993	5	1998	10
1604	9	1669	9	1734	19	1799	11	1864	元治	1929	4	1994	6	1999	11
1605	10	1670	10	1735	20	1800	12	1865	慶応	1930	5	1995	7	2000	12
1606	11	1671	11	1736	元文	1801	享和	1866	2	1931	6	1996	8	2001	13
1607	12	1672	12	1737	2	1802	2	1867	3	1932	7	1997	9	2002	14
1608	13	1673	寛宝	1738	3	1803	3	1868	明治元	1933	8	1998	10	2003	15
1609	14	1674	2	1739	4	1804	文化	1869	2	1934	9	1999	11	2004	16
1610	15	1675	3	1740	5	1805	2	1870	3	1935	10	2000	12	2005	17
1611	16	1676	4	1741	寛保	1806	3	1871	4	1936	11	2001	13	2006	18
1612	17	1677	5	1742	2	1807	4	1872	5	1937	12	2002	14	2007	19
1613	18	1678	6	1743	3	1808	5	1873	6	1938	13	2003	15	2008	20
1614	19	1679	7	1744	延享	1809	6	1874	7	1939	14	2004	16	2009	21
1615	元和	1680	8	1745	2	1810	7	1875	8	1940	15	2005	17	2010	22
1616	2	1681	天和	1746	3	1811	8	1876	9	1941	16	2006	18	2011	23
1617	3	1682	2	1747	4	1812	9	1877	10	1942	17	2007	19	2012	24
1618	4	1683	3	1748	寛延	1813	10	1878	11	1943	18	2008	20	2013	25
1619	5	1684	貞享	1749	2	1814	11	1879	12	1944	19	2009	21	2014	26
1620	6	1685	2	1750	3	1815	12	1880	13	1945	20	2010	22	2015	27
1621	7	1686	3	1751	宝暦	1816	13	1881	14	1946	21	2011	23	2016	28
1622	8	1687	4	1752	2	1817	14	1882	15	1947	22	2012	24	2017	29
1623	9	1688	元禄	1753	3	1818	文政	1883	16	1948	23	2013	25	2018	30
1624	寛永	1689	2	1754	4	1819	2	1884	17	1949	24	2014	26	2019	令和元
1625	2	1690	3	1755	5	1820	3	1885	18	1950	25	2015	27	2020	2
1626	3	1691	4	1756	6	1821	4	1886	19	1951	26	2016	28	2021	3
1627	4	1692	5	1757	7	1822	5	1887	20	1952	27	2017	29	2022	4
1628	5	1693	6	1758	8	1823	6	1888	21	1953	28	2018	30		
1629	6	1694	7	1759	9	1824	7	1889	22	1954	29	2019	令和元		
1630	7	1695	8	1760	10	1825	8	1890	23	1955	30	2020	2		
1631	8	1696	9	1761	11	1826	9	1891	24	1956	31	2021	3		
1632	9	1697	10	1762	12	1827	10	1892	25	1957	32	2022	4		
1633	10	1698	11	1763	13	1828	11	1893	26	1958	33				
1634	11	1699	12	1764	明和	1829	12	1894	27	1959	34				
1635	12	1700	13	1765	2	1830	天保	1895	28	1960	35				
1636	13	1701	14	1766	3	1831	2	1896	29	1961	36				
1637	14	1702	15	1767	4	1832	3	1897	30	1962	37				
1638	15	1703	16	1768	5	1833	4	1898	31	1963	38				
1639	16	1704	宝永	1769	6	1834	5	1899	32	1964	39				
1640	17	1705	2	1770	7	1835	6	1900	33	1965	40				
1641	18	1706	3	1771	8	1836	7	1901	34	1966	41				
1642	19	1707	4	1772	安永	1837	8	1902	35	1967	42				
1643	20	1708	5	1773	2	1838	9	1903	36	1968	43				
1644	正保	1709	6	1774	3	1839	10	1904	37	1969	44				
1645	2	1710	7	1775	4	1840	11	1905	38	1970	45				
1646	3	1711	正徳	1776	5	1841	12	1906	39	1971	46				
1647	4	1712	2	1777	6	1842	13	1907	40	1972	47				
1648	慶安	1713	3	1778	7	1843	14	1908	41	1973	48				
1649	2	1714	4	1779	8	1844	弘化	1909	42	1974	49				
1650	3	1715	5	1780	9	1845	2	1910	43	1975	50				
1651	4	1716	享保	1781	天明	1846	3	1911	44	1976	51				
1652	承応	1717	2	1782	2	1847	4	1912	大正元	1977	52				
1653	2	1718	3	1783	3	1848	寛永	1913	2	1978	53				
1654	3	1719	4	1784	4	1849	2	1914	3	1979	54				
1655	明暦	1720	5	1785	5	1850	3	1915	4	1980	55				
1656	2	1721	6	1786	6	1851	4	1916	5	1981	56				
1657	3	1722	7	1787	7	1852	5	1917	6	1982	57				
1658	万治	1723	8	1788	8	1853	6	1918	7	1983	58				
1659	2	1724	9	1789	寛政	1854	安政	1919	8	1984	59				
1660	3	1725	10	1790	2	1855	2	1920	9	1985	60				

小豆島の狛犬から見える、石彫文化変遷は概ね瀬戸内の島に共通する



① 浪花狛犬期
狛犬運ばれてくる
(砂岩製)1776～



② 幕末期
花崗岩で彫られる



③ 地元石工活躍期
ユニークな狛犬が座る



④ 庵治石工台頭期



⑤ 平成画一期
中国産狛犬台頭

瀬戸内のこまいぬ



2023年現在

江戸時代の半ば（1761年①高見島）から瀬戸内の島に運ばれてきた浪花
 狛犬たちは、廻船業繁栄の時代の賑わいを感じさせてくれます。狛犬は
 『海の時代』を語る生き証人です。

瀬戸内に遺る古い狛犬達

2023 年現在の年齢表記

タイプ	年代順	所在地	神社名	元号	西暦	御歳	石工	備考
浪花型	1	高見島	祇園社	宝暦 11	1761	262		
浪花型	2	女木島	女木島八幡神社	明和		255		推定
浪花型	3	伊吹島	伊吹島八幡神社	明和 2	1765	258		
浪花型	4	東かがわ市	誉田神社	明和 7	1770	253		
浪花型	5	さぬき市	石清水八幡宮	安永 4	1775	248		
浪花型	6	小豆島	内海八幡神社	安永 5	1776	247	和泉屋仁右工門	
出雲型	7	丸亀市	金毘羅宮	天明 元年	1781	242	門兵衛	
浪花型	8	粟島	馬城八幡神社	天明 6	1786	237		
浪花型	9	本島	本島八幡神社	寛政 5	1793	230		
浪花型	10	広島	立石八幡神社	寛政 5	1793	230		
浪花型	11	丸亀市	金毘羅街道	寛政 7	1795	228		
浪花型	12	男木島	豊玉姫神社	寛政		230		推定
浪花型	13	豊島	唐櫃八幡神社	文化		220		推定
浪花型	14	直島	崇徳天皇神社	文化 12	1815	208		
浪花型	15	佐柳島	佐柳八幡神社	文政 9	1826	197		
浪花型	16	豊島	家浦八幡神社	文政 12	1829	194		
浪花型	17	本島	尾上神社	嘉永 文化		170		推定訂正(磯辺ゆう氏)
浪花型	18	直島八幡	直島八幡	嘉永 5	1852	171		
西讃型	19	粟島	粟島神社	昭和 5	1930	93	真鍋惣吉	
備前焼	20	女木島	住吉神社	昭和 16	1941	82	木村六郎平	

浪花型の特徴

- 1 どんぐり眼
- 2 扇型の尾
- 3 団子鼻



時代と共に四角っぽい顔から、

丸っぽい可愛らしい顔に変わっていく

江戸時代の半ばから、地元の石工達が浪花型や金毘羅さんの出雲型を見習って狛犬を作るようになった。東讃地域では、庵治石工が活躍し、浪花風尾や出雲風な顔立ちをした狛犬を多く彫った。西讃岐では、丸亀石工や多度津石工が出雲型に似たタイプを多く彫っている。その中に、備前焼や玉に乗った尾道石工のもの等がみられる。江戸型は昭和になってからのものが少し見られ、越前型と言われるものは、参道には見られない。

狛犬寄進から江戸時代の交易の様子が垣間見られる。



豊島 家浦八幡神社
昭和8年 江戸風

※瀬戸内の島々にはこれらの他にもいろいろな狛犬が見られます。